

2050年ゼロカーボンシティの表明について

我が国では、パリ協定の発効など国際的動向を踏まえ、昨年10月26日に菅内閣総理大臣の所信表明において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素社会の実現）を目指す表明がありました。

北海道においても、令和2年第1回定例議会において鈴木知事が「北海道地球温暖化対策推進計画」で脱炭素社会を見据えた長期的な視点を踏まえ、「2050年までに温室効果ガス排出量をゼロとすることを旨とする」旨を表明しており、本市でも、「魅力と安心にあふれた大地ふらの」を未来に引き継ぐことができるよう、第3次富良野市環境基本計画・富良野市地球温暖化対策実行計画の施行初年度である令和3年度を機に、雄大な山並みと田園が織りなす風景や自然、肥沃な大地に育まれた食材等の富良野の魅力を次世代の未来につないでいくために「2050年脱炭素社会」を目指すことを表明します。

令和3年4月1日

富良野市長 **北 猛俊**